

明けまして おめでとうございます。

平成二十一年、明けましておめでとうございます。謹んで年頭のお祝いを申し上げます。
町民の皆さまが安心してこの町で暮らし、希望広がる年であってほしいと願っております。

町の生き残りをかけて進めてきた「嘉手納二十一世紀躍進プラン」の中核となる新町・ロータリー再開発事業が昨年三月完成し、すでに各施設は稼働しはじめております。十二年の歳月を要しました。この間、多くの人びとのご理解とご協力をいただきました。再生事業に直接かわり、力を尽くしていただいた方々をはじめ、二百七十人にも及ぶ権利関係者の「この街を共に変えよう」という熱意がなければ、一歩も前に進まない事態でした。皆さんの尊い思いが、この町をこのように生れ変わらせることができました。それに、工事現場近くの皆さんには多大なご迷惑をおかけしました。工事関連で発生する生活障害にも耐えて我慢していただきました。ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

新町・ロータリー再開発事業の完成によって、町の中心地区には生活サービス施設、地域振興施設、商業施設、個人住宅、集合住宅、防災広場が整備されました。町の中心拠点としての役割を担って行きます。



嘉手納町長
宮城 篤 実

西部のイユミーバンタ周辺には、これからの時代を見据えた情報通信関連産業を集積するために「マルチメディアセンター」が配置され、今や四百八十人余の職員が働き、その施設を多くの町民が活用しております。

東部の千貫田地先においては、町内外の物流の結節点を形成するため「道の駅」を開通させ、すでに百万人を突破する観光客が訪れ、活況を呈しております。さらに、隣接する地域には、独立行政法人「駐留軍等労働者労務管理機構沖繩支部」が移転することになりました。約百人の職員が勤務することになり、地域活性化に貢献していただけるものと期待しております。

「二十一世紀躍進プラン」は、町域のすべてを一体的に活性化させる企画でありましたので、これで概ね全町域をバランスよくカバーすることができました。役場前の駐車場の整備と役場玄関、エントランスホールの改造も引き続き実施致します。

地域活性化のための当面の事業はこれで終結しました。完成したこの基盤を動かして、いかに活力に満ちた町づくりができるか。本町には多くのビジネスチャンスが生まれました。働く場所の創出を期待しております。

役場としては、これまで進めてきたハード事業の成果を活かして、柔軟にして多角的なソフト事業に全力を傾ける決意であります。その具体策については、今、町内外の関係者、担当職員間で汗をかきながら詰めております。町民待望の教育、福祉政策として打ち出すこととなります。

本年もご家族の皆さまが、健やかに過ごしいただけるよう祈念しております。